



|   |            |                         |             |                         |       |
|---|------------|-------------------------|-------------|-------------------------|-------|
| 福祉課C1情報共有<br>・母子手帳アプリ運用   |            | 福祉課C1情報共有<br>・母子手帳アプリ運用 |             | 福祉課C1情報共有<br>・母子手帳アプリ運用 |       |
| 事務事業名   | 母子健康手帳交付事業 | 事務事業No.                 | 10202000336 | 所属課                     | 健康推進課 |
| (5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？<br>S41に母子保健法が施行されたことに伴い、母子健康手帳と改名。S51の改正で母親の自主的な記入欄が増え、母子の健康管理ができるようになった。H31.4月～母子健康手帳の交付を健康推進課に統一し、全ての対象者に保健師、助産師、看護師等専門職が面談を行い、要支援妊婦のスクリーニングを実施。必要に応じて早期より関係機関と連携し、切れ目のない支援に結び付けている。R2～母子手帳アプリを導入。R5.2月～母子健康手帳の交付を予約制とし、R5.11月～母子手帳アプリからの予約となる。 |            |                         |             |                         |       |
| (6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？<br>「妊娠中の過ごし方や妊娠・出産に伴う社会資源等を知ることができて安心した」「都合のいい時間にアプリから予約やアンケート入力ができるようになった」との声が聞かれた。また、事前に必要物品や部屋の準備をすることができ、お待たせする時間がなくなった。   |            |                         |             |                         |       |

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

| 評価項目    |   |
|---------|---|
| 改革改善を行う | ① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)<br><input checked="" type="checkbox"/> 結びついている<br>母子保健法に基づき、母子の健康管理に努める必要がある。また、母子健康手帳交付時に面談や情報提供を行うことで、妊婦の不安軽減につながっている。   |
|         | ② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)<br><input checked="" type="checkbox"/> 妥当である<br>一貫した母子の健康管理・保持増進のために市が行う必要がある。  |
| 有効性     | ③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)<br><input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある<br>R5.2月～母子健康手帳の交付を予約制とし、健康カレンダーやホームページ、母子手帳アプリ、近隣医療機関、各総合窓口課に予約方法を周知。妊娠11週以内の届出者を増やすため、今後も周知に力を入れる必要あり。 |
|         | ④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)<br><input checked="" type="checkbox"/> 影響有<br>一貫した母子の健康管理・保持増進ができなくなる等影響がある。   |
| 効率性     | ⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む))<br>(他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名<br><input checked="" type="checkbox"/> 余地がない<br>類似事業がないため、統廃合・連携の余地がない。   |
|         | ⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)<br><input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない<br>母子健康手帳交付は、面談を通して対象者が抱えている課題を早期に把握することで、必要な支援につなげることができる母子保健の基盤となるため、削減の余地はない。                                   |
| 公平性     | ⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)<br><input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である<br>母子保健法の規定に基づき、全妊娠届出者に交付しているため適正である。  |

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

| (1) 1次評価者としての評価結果<br>① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり<br>② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり<br>③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり<br>④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり |    | (2) 全体総括(振り返り、反省点)<br>R5.11月～母子健康手帳の交付がアプリからの予約制となり、ダウンロード件数は前年比130件増。市民の利便性の向上や負担軽減と共に、アンケートの内容を専門職が事前に確認できることで、要支援者の早期発見・支援介入に繋がっている。現在、アプリからの予約は75%であり、更なる市民の利便性の向上、負担軽減のためアプリの周知を図る必要がある。   |    |    |  |     |  |  |    |    |    |    |    |  |   |  |    |  |  |   |    |  |  |   |
|---|----|---|----|----|--|-----|--|--|----|----|----|----|----|--|---|--|----|--|--|---|----|--|--|---|
| (3) 今後の事業の方向性<br><input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持<br><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止   |    | (4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)<br><table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> |    |    |  | コスト |  |  | 削減 | 維持 | 増加 | 成果 | 向上 |  | ○ |  | 維持 |  |  | × | 低下 |  |  | × |
|   |    | コスト   |    |    |  |     |  |  |    |    |    |    |    |  |   |  |    |  |  |   |    |  |  |   |
|   |    | 削減  | 維持 | 増加 |  |     |  |  |    |    |    |    |    |  |   |  |    |  |  |   |    |  |  |   |
| 成果  | 向上 |   | ○  |    |  |     |  |  |    |    |    |    |    |  |   |  |    |  |  |   |    |  |  |   |
|   | 維持 |   |    | ×  |  |     |  |  |    |    |    |    |    |  |   |  |    |  |  |   |    |  |  |   |
|   | 低下 |   |    | ×  |  |     |  |  |    |    |    |    |    |  |   |  |    |  |  |   |    |  |  |   |
| (5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策<br>母子手帳アプリの周知、及び周知方法の検討  |    | (6) 事務事業優先度評価結果<br>成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ②  |    |    |  |     |  |  |    |    |    |    |    |  |   |  |    |  |  |   |    |  |  |   |

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

|   |  |  |  |
|---|--|--|--|
| (1) 課長評価<br>課長確認後の評価<br><input checked="" type="checkbox"/> B<br>A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止<br>B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出 |  | (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)<br>確認欄 <input type="checkbox"/> |  |
|---|--|--|--|